



国立研究開発法人 日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所

事業所概要（令和6年4月1日現在）

所在地	東海村村松4番地33
業種	原子力の研究開発
従業員数	774名 内正社員 622名 (男性 557名 女性 65名)
ホームページ	https://www.jaea.go.jp/04/ztokai/index.html



多様な人材が能力を発揮できる研究所

・ワークライフバランス充実に向けた取り組み

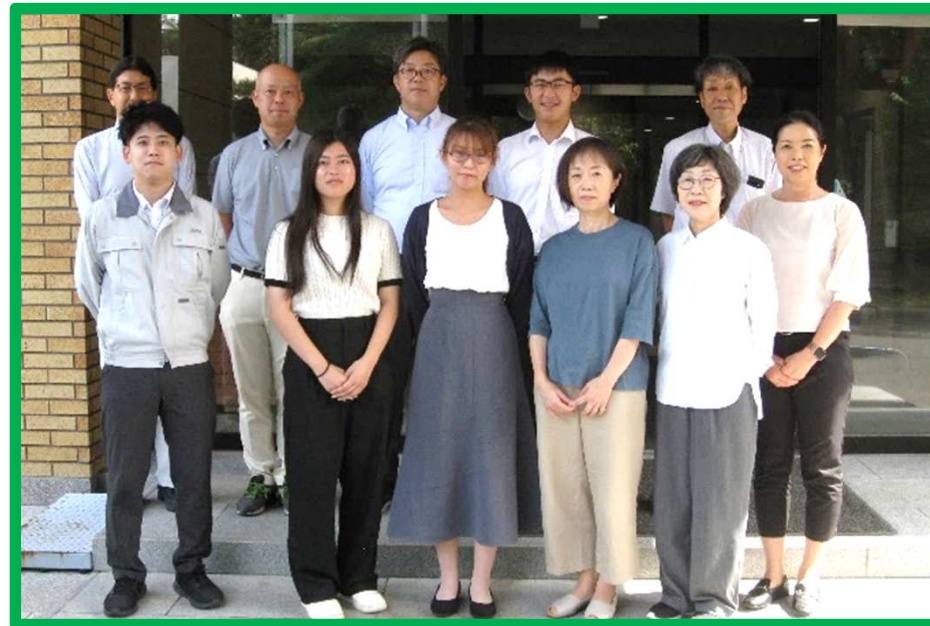
従業員のライフステージに応じて柔軟な働き方ができるよう、時差出勤やテレワークの制度を設けるとともに、所内に働き方の相談窓口を設けています。

より高い水準で子育て支援に取り組む企業であることが認められ、令和4年度に「プラチナくるみん」の認定を受けました。



・ダイバーシティ推進に係る意見交換会開催

研究所において幅広い人材が活躍できるよう、職場環境の充実やワークライフバランスの推進にかかる意見交換会を年3回程度実施しています。出席者から寄せられた要望は可能な限り取り職場に取り入れることで、より働きやすい環境の実現を目指しています。



職員の声

第一子出生のときに約2年間、第二子出生のときに約3年間の産休育休を取得しました。産休育休中に、夫の海外赴任に家族で同行したり、子供と長時間過ごすことができ、私たち家族にとって、かけがえのない経験になりました。業務の代理やサポートをして頂いた所属部署の皆さんには大変感謝しています。職場復帰後も、部分休業制度やテレワーク制度を使い、無理なく家庭と仕事を両立することができて助かっています。

プルトニウム燃料技術開発センター 30代女性技術系職員

職員の声

第一子が生まれるにあたって、半年間の育児休業を申請し、希望通りに取得できました。休業に入る際も復帰する際も上司や担当部署のサポートがあり、手続きもスムーズでした。育児休業中、我が子の「初めて」の瞬間にたくさん立ち会えたのは本当に良かったです。復帰後は周囲の支えのおかげもあり、早く帰宅して家内との家事・育児の分担を続けられています。仕事と子育ての両方で大いに活躍できる職場です。

環境技術開発センター 40代男性技術系職員